

# 安全・安心

- ☆個人住宅除染は昭和町、会津町などの市街地や大沼・関辺・五箇地区、さらに表郷地域の一部に着手
- ☆中間貯蔵施設の早期設置と円滑な搬出を国・県に要望
- ☆消防団員の装備の更新や出動手当の見直し
- ☆総合防災訓練の実施

# 1

安全・安心に暮らせる  
人にやさしいまち



前回の総合防災訓練



消防団の訓練



個人住宅除染

Project



この写真は、プロジェクトダライザーが制作した「ダライザー ショートムービー」の一コマを使用しています。

# 健康・福祉・医療

Project



公立保育園



介護予防講座

- ☆公立保育園の保育時間を午後7時まで延長
- ☆一時預かり事業の拡充
- ☆放課後児童クラブの対象を小学6年生まで拡大
- ☆基本的な生活習慣が身に付く4歳児を対象に相談会を開催し、適切な指導や助言を実施
- ☆本庁舎こども課窓口での育児相談を拡充
- ☆子育てアプリを導入し必要な情報を提供
- ☆「ロタウイルスワクチン」予防接種費用の助成
- ☆介護支援活動に参加した時間に応じ、ポイントが加算され換金できる事業を実施
- ☆認知症による徘徊を早期に発見・保護できるよう地域ぐるみのネットワークを構築
- ☆「地域包括ケアシステム」の構築を推進

いきいきと健やかで明るい  
笑顔があふれるまち

◎平成27年度施政方針

6つのプロジェクトで

# 新たな時代を切りひらく

「施政方針」は、この1年間、市の進むべき方向を示す指針となるものです。  
今月号では、平成27年の施政方針を、6つのプロジェクトに沿って紹介します。

アメリカ先住民の教えに「自然は祖先から譲り受けたものではなく、子孫から借りたもの」という言葉があります。これは、いつの時代やどの地域にも当てはまる普遍的なもので、私たちはこの言葉の意味をよくかみしめる必要があります。

目の前にある少子化や人口減少問題などの諸課題に正面から向き合い、持てるすべての力をもって、後世により良い状態で地域を引き継いでいくことが、私たちの責務です。

今、ともすれば、未来への不安から首をすくめがちですが、チャンスは逆境の中にもあります。勇気と知恵を持ち、「未来は創ることができる」という信念のもとに、新たな時代を切りひらいてまいります。



白河市長 鈴木和夫

# 都市基盤

## Project

- ☆「旧脇本陣柳屋旅館」や「小南湖」の整備を進め、歴史と文化をいかしたまちづくりを推進
- ☆市道の整備（白坂駅十字線、金勝寺大谷地線、梁森中寺線、深仁井田板倉線、観音前1号線等）
- ☆西郷高原大橋や舍利石トンネルなどを補修
- ☆県と連携を図り、白河駅白坂線（向新蔵工区）の整備を促進
- ☆西郷羽目線（登町工区）の全線供用開始を目指し、事業を推進
- ☆文化交流館へのアプローチとなる街路を整備し、歩行系回遊ゾーンを拡充
- ☆公共下水道の整備（白坂双石幹線、飯沢および関辺松並）および都市環境センターの施設改修に着手
- ☆市内循環バス路線に、会津町、飯沢方面への北循環線を加え、利便性を向上

やすらぎと快適さのある  
住みよいまち



市内循環バス



道路の整備



小南湖の整備

# 環境・コミュニティ

- ☆不法投棄の監視強化を図るとともに、市民による資源回収活動の支援を継続
- ☆地域コミュニティ強化のため、集会所の整備や「地域の底力再生事業」を推進
- ☆町内会が行う農業用施設の修繕等を支援する「結」支援事業を充実
- ☆街なかの空き家を活用し、特に若者の居場所となるようなコミュニティ・スペースを設置
- ☆地元産品を扱う直売所や住民の憩いの場を備えた「市民交流センター」を大信地域に建設
- ☆都市住民が一定期間定住し、活動を通じて地域力の強化を図る「地域おこし協力隊」を設置

潤いのある環境を未来につなぎ、  
共にふれあい支え合うまち

## Project



コミュニティスペース



地域の底力再生事業



町内会での清掃

# 産業・雇用

## Project

- ☆セミナーや相談会、市場調査や設備費用等に助成し、新たに起業を目指す女性や若者、新分野へ進出を希望する企業を支援
- ☆中小企業が、大学や公的研究機関等と連携して行う新製品やサービス等の開発を支援
- ☆防災拠点となる公共施設に太陽光発電と蓄電池を整備
- ☆農家の様々な相談を受ける「人・農地相談センター」を新設
- ☆農工商連携や6次産業化への支援を拡充
- ☆県南8町村と連携し「ふくしまDC」に取り組み、地域の魅力をPR
- ☆観光アプリの充実や観光案内板の整備を図り、周遊型観光を推進

地域資源を生かし産業を育て  
雇用を生むまち



ふくしまDC



女性の起業セミナー



太陽光発電の整備

## Project



歴史再発見事業



サテライト教室



学校司書を配置

# 教育・生涯学習

- ☆市長と教育委員会が一体となって、次世代を担う人材を育成するため、「総合教育会議」を設置し、「教育大綱」を策定
- ☆学校図書館を有効に活用してもらうため、学校司書の配置を拡大
- ☆「白河の歴史再発見事業」を小・中学校全学年に拡大し、郷土の理解を深め愛着や誇りを醸成
- ☆福島大学白河サテライト教室に加え、他大学の講座を開講
- ☆小峰城の西面から北面の修復工事に着手するとともに、一体的な史跡整備を図るため土地の公有化を推進
- ☆南湖公園の赤松の維持や水質調査等を行い環境保全を推進
- ☆桑名市との共同で特別企画展「大定信展」を開催

心豊かに学び・ともにふれあい  
・生きる喜びを実感できるまち